

アムール州代表団の来道 結果概要

◇ 概要

令和元年11月26日（火）から27日（水）までの日程で、ポロワイキナ・アムール州第一副首相をはじめとするアムール州政府関係者やカリタ・ブラゴヴェシチェンスク市長、同州内企業など、官民24名のアムール州訪問団が来道した。

26日（火）には、同代表団が土屋副知事を表敬訪問した。

表敬の際、ポロワイキナ第一副首相から、アムール州はロシア最大級の農業地域である旨述べつつ、大豆をはじめとする農業分野での本道との協力について提案があった。

また、人的交流を含む多角的な交流についても提案があった。



1 ポロワイキナ・アムール州第一副首相の主な発言

- アムール州は日本との交流に関心がある。2020年から予定されている「日露地域・姉妹都市交流年」は、当州と日本との交流開始にとって、良いきっかけになると考えている。
- アムール州は農業が発展している地域であり、大豆においてはロシア極東における最大の生産量を誇る。日本企業への大豆かすの輸出実績もあり、この分野での協力の活性化に関心を払っている。
- 農業に留まらず、文化、医療、教育分野など、あらゆる分野でも交流を進めていきたい。
- アムール州内の市町村と道内市町村の間において、姉妹提携を締結することができれば嬉しい。

2 その他

- アムール州訪問団は、本道訪問に先立ち、11月25日（月）に東京にて、農業・観光・木材・金融・人道的分野などに関するプレゼンテーションを実施した。
- 来道中は、26日に北海道庁を訪問したほか、札幌市役所及び在札幌ロシア連邦総領事館を訪問。翌27日には、帯広市役所、芽室町役場及び十勝管内の農業関係企業などを訪問した。

（了）